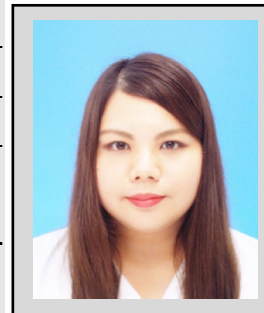


特別支援教育専修 照屋研究室のご紹介 教員：照屋晴奈

教員についての基本情報

教員名	照屋 晴奈 講師 (TERUYA Haruna)
担当教科と分野	病弱者教育・インクルーシブ教育
研究分野	特別支援教育
担当授業	病弱者教育、病弱者の心理・生理・病理、重複障害者教育、インクルーシブ教育指導法、ダイバーシティ教育実践研究など
授業についての一言	特別支援教育の中でも病弱者・身体虚弱者に関する教育を中心に担当しております。授業はアクティブラーニングの手法で、受講される学生さんと一緒に考えていくような講義を目指しています。インクルーシブ教育の授業では、学校の校種関係なく、全ての学校現場で必要となる、特別な支援が必要な子どもについて理解を深めたり、最新研究についてお伝えします。
研究室ホームページ	https://u-ryukyu-tokushi.jimdofree.com/



特別支援教育専修の紹介

特別支援教育専修では、特別支援学校、特別支援学級、通常の学級に在籍する多様なニーズを持つ子どもに対する教育を行うための教員を養成し、特別支援学校教諭1種免許状（知的障害者、肢体不自由者、病弱者）を取得できる沖縄県内唯一の専修です。また、基礎免許となる小学校もしくは中学校教諭1種免許状の取得もあわせて必須のため、特別支援学校や通常学校など卒業後の進路が広がります。

沖縄県で活躍する特別支援学校の先生方の大半は、ここの専修の卒業生にあたります。ここを卒業しても学校現場で一緒にお仕事をする仲間になります。専修では、1年生から4年生・特別課程・大学院の学生さんの全ての繋がりを大事にしています。また、3~4年次で各先生のゼミに配置後にも、色々な先生に研究の内容の相談ができるよう、定期的に全体ゼミの時間を設けています。

また、個人的にとっても特徴的だと感じているのが、学生さんが悩んだ時に、どの先生にも相談しやすいような雰囲気や教員全員で目指し、連携体制を整えていることです。教員を目指す中で悩みが出てくることや、コロナ禍などで大学生活に不安が出てしまうのは当たり前のことです。それを前提に、我々教員も常に学生のサポートを中心に据えて考えていることも、本専修の大きな特徴だと思います。



↑教育実習向け車椅子体験



↑教員採用試験に合格した4年次が3年次へ経験談を踏まえたお話を開催！

照屋研究室で目指す研究とは

照屋研究室では、病弱に関する研究に特化せず、海外のインクルーシブ教育や障害者研究、そもそもの人間発達に係わる研究など、広いテーマで研究を行っています。私の研究室で大事にしていることは「研究の仕方をしっかり身に付けること」です。学校現場で働く際に、どうしても“良い指導法とは何か”に目が行ってしまいます。しかし、目の前に居る子どもたちや取り組みたいテーマについて、しっかり分析するためには、その背景（子どもの背景、研究の背景）や、現時点での課題は何か、最新研究はどのようなものが明らかになっているのかなど、調べて理解し、答えを見つけようとする視点が必要です。そのような力を身に付けて「研究」を武器に、学校現場でどんどん研究を進めていける教員を育てていきたいと考えています。